

2019年12月に中国で発生したコロナウイルスは瞬く間に世界中で流行し、その影響は様々な場面に及び、従来の社会を見つめ直すきっかけにもなりました。それは縣陵祭もまた例外ではありませんでした。

第73回縣陵祭は当初通常開催を目指していましたが、国内での感染拡大に伴う約3ヶ月間もの休校期間中、生徒会役員で幾度となく話し合いを重ね「感染リスクを限りなくゼロにする」という方針のもと全国に先駆けてオンラインで開催しました。

オンライン縣陵祭は電子黒板やPadなどのICT機器やYouTube配信などを活用し、1日目前夜祭、2日目一般の方向けの配信、3日目縣陵生向けの配信、4日目閉祭式、という日程で実施しました。

また、売店の代替案として地域の飲食店の商品を希望者に販売しました。

これまでの縣陵祭には「地域との関係が希薄」「校舎のバリアフリー化がなく、誰もが楽しめる」という問題があると個人的に考えていました。

しかし今回初めてイレギュラーな方法で開催したことにより、地域のお店と新たな関係が築けたり、会場に来れない方にも発

第73回 縣陵祭 ~7.3秒間のHigh~

第73回縣陵祭準備実行委員長
3年 松岡大輝



表をお届けすることができ、通常の方法では見えなかった問題解決の新たな糸口を見つける事ができました。

オンラインでの開催にあたり、実質的な開催時間の縮小や、実行できなかった企画も多かったためマイナス面ばかりが大きくなって見えますが、運営に関しては例年よりも得るものが多かったと思います。また縣陵祭の開催にあたり、卒業生の方々からたくさんのお言葉をいただき、縣陵祭が縣陵にとって大きな意味を持つことを再認識することができました。オンライン文化祭は全国的にも注目度が高く、内外で様々な意見が見受けられましたが、率先してICTを活用することで新しい文化祭のあり方を提示できたことに価値があると思います。

来年以降リアルとオンラインの利点を活かし、より多くの方に楽しんでもらえる縣陵祭を期待しています。

背景画：白虹会
2年 小松叶羽



白虹会
2年 吉野藍

HAKKOUKAI 百虹会 GALLERY



2年 小松叶羽



3年 望月陽菜



2年 青木柚奈



2年 小林瑠奈



2年 吉田萌々花



3年 加藤夢魚



3年 高橋優佳

3年 西澤希美果